

女夜叉と申しまして、表面は菩薩の様に美しいが腹の中は鬼やと申しました。女は鬼やそうで、女が鬼、そないに何遍も云はいても宜ろしいが、けども女やなければならんのは女には子を産むと云ふ責任がござります。女の妊娠と云ふものは豪い色氣の有るもので、常に色の白い處へ妊娠になると青みがかゝつて目の縁が潤んできて頬の肉が落ちて小鼻がいかつて口の周圍が荒れると云ふ事を聞いております。月經が滞りますと口の周圍が荒れるのやそうで、松鶴も此頃口の周圍が荒れてるので、これは月の物が滞つて居るのぢやないかと思ふて病院で診察貰ひましたが解りまへん。家主で聞いたら直ぐに解りました。お前の家は家賃が三つ滞つて居ると申しました。お腹が飛び出すとお尻が飛んで出る横から見ると随分面白い恰好で肩で息をしながら妾酔い物が食べたいわ、なんて云ふてござると色氣がおますが、現今は男女同權やで女は女の子を産む、男は男の子を産むとなつたら男の妊娠は感心しまへん。常に色の黒い處へ垢が附いて支那栗の様な色になるは髪の毛は伸びるし髭はボウ／＼と生へてくるは腹はだん／＼大きくなるし會社へは務めんならんが洋服の釦が掛らん様になるはステッキを杖に肩で息をしながら、オイ君、僕酔い物が食ひたいぞ、やなんて色氣がなさすぎます。これは矢つ張り御婦人に限ります。現今は御婦人の職業が澤山殖へて參りましたが昔から今に廢らずに有るのが何やと申しますとお差支へが有つたらお許しを願ひまして、アノお妾さんと云ふ商賣、商賣と云ふのもおかしう御座りますが、お妾さんを只今では第二號とか二號はんとか二合五勺とか云ふのやそう

で、このお妾さんなどが仰しやる事を聞いて居ますと實に可愛い事を仰しやるもので「なナ且さん妾貴郎はんにお頼みがあるのん」「解つてる芝居かそれとも着物でも買ふて欲しいのか」「イエそうやないのん」「そんならなんぢや」「アノ妾が歳がいきませんのに且さんの頭に白い毛が澤山あるので電車に乗つても人が顔を眺めますので頭の白い毛を抜かして頂戴」「フムどうで歳がいたら頭に白い毛も生へるわいな」「それが抜かして欲しいのん抜かして頂戴いなエ、なエ、／＼」と豚が餌を拾ふてるように鼻で突いて行きますと旦那も満更毆られてる様な氣持も致しまへんで、そんなら如何なと宜い様にしいなアと頭を委託して仕舞ますと、暇と根とで頭の白い毛を毛抜きで一本一本抜きます。お宅へお歸りになりますと御寮人さんは少々悋氣の氣味で「マア且さん此頃甚ふ頭の毛が黒々とおなり遊ばした。お歳をめしましたら少しは白い毛がないと縮りがなうていきません。白い毛の目立つ様に黒い毛を抜いておあげ申します」と御寮人は毛抜きを持つて來て黒い毛を抜きます。お妾の方では白い毛を抜く宅では黒い毛を抜く四五日経つたらスツペラ坊主になつて仕舞ふた。そんな手荒い事は有りませぬまいが如何しても御婦人には悋氣の有るもので、悋氣もこんがり焼くと宜しいが黒焦げに焼くと苦うて食べられまへん。悋氣は女の慎む處疝氣は男の苦しむ處とチャンと極つて居りますが又一方から申しますと御婦人に悋氣の無いのは何となしに淋しいそうで、如何しても御婦人には悋氣が附物で旦那が夜分にお歸りが遅いと先へ寝むわけには參りませんで臺所で女中さんを相手に電燈の